

入学式 (2026.4.4)

2026年4月4日(土)、本学園の入学式がヨセフホールで挙行されました。新中学1年生172名、新高校1年生218名が新たにラ・サール・ファミリーに加わりました。

入学式は時間をずらして中高別に行われ、いずれもビューグラーズ(吹奏楽部)の演奏が流れる中で生徒入場、新入生氏名点呼、入学宣明の後、アントニオ校長が式辞を述べ、次のようなメッセージを伝えました。

ラ・サールの教育は、学力の向上だけでなく、一人ひとりの人格を育てることを大切にしてきました。よい大学に進学することだけが目標ではありません。信仰、隣人愛、奉仕する心を育み、社会の中で人のために生きる人へと成長することも、私たちの大切な使命です。

「Lasallian DNA: All Is Connected」という言葉が示すように、学びと生き方はすべてつながっています。私たちの一つひとつの言葉と行動は、互いに影響し合っています。教室での学びは、皆さんがどのような人になるかにつながります。日々の努力は、自分自身の成長につながります。そして、人との関わり方は、学校全体の雰囲気や文化をつくっていきます。だからこそ、学校は知識だけでなく、「共に生きる力」を学ぶ場でもあります。日々の小さな思いやりが、支え合い、共に成長する文化を育てます。

ラ・サールは、楽な道を約束する学校ではありません。しかし、意味のある道を共に歩む学校です。その道は、皆さんが学業の目標に向かって努力し、自らの可能性を伸ばしていく道であると同時に、ラ・サール生としての生き方を学んでいく道でもあります。

その後、新入生代表が、「校則を守り、勉学に励みます」と新入生宣誓を行い、西原PTA会長の祝辞、保護者代表挨拶をいただいて、式は終了しました。

今年の入学式は一時強い雨に見舞われましたが、鹿児島では門出の雨を島津家初代・忠久の出生の故事にちなみ「島津雨」と呼んで縁起の良いものと考えます。ですから新入生にはこれから良いことがたくさんあることでしょう。新入生諸君がラ・サリアン・ファミリーとして仲間たちと過ごす毎日が実り多いものとなることを、学校教職員・寮教職員一同、心より願っております。





西原一将PTA会長 祝辞



中学新入生保護者代表謝辞



中学1年生 担任紹介



高校新入生入場



高校新入生氏名点呼



高校入学式 校長式辞



高校新入生代表 宣誓



高校新入生保護者代表謝辞